

日本一長いみやぎの運河群の 各取組状況

令和4年12月26日

NO, 6

宮城県
復興・危機管理部
復興支援・伝承課

震災伝承みやぎコンソーシアムの概要と会員の募集について

1 概要

震災の記憶や教訓を広く後世に伝え継ぐために、多様な主体である会員同士がゆるやかに連携し、一丸となった震災伝承の取組を目指して、令和4年9月9日に設立した。 ※事務局は県とし、代表等の役員は置かない。



9月のコンソーシアム設立会議の様子

2 会員

- (1) 伝承団体等 26団体 (2) 学術機関等 2団体 (3) 報道機関 9団体
- (4) 企業等 11団体 (5) 行政機関 19団体

計 68団体(R4.12.19時点)

※会員については随時募集!!

※会員の皆様には、日頃の活動の中で可能な範囲において、伝承の基本方針に沿って取り組んでいただく。
(主に以下ア～ウの内容 ※県「東日本大震災の記憶・教訓の伝承に関する基本方針」の3本柱)

ア 震災の記憶・経験の蓄積と発信

イ 伝承や防災・減災に関する人材の育成と防災教育の推進

ウ 多様な主体の連携による伝承の推進



3 今後の主な活動予定

○会員間の情報共有

- (例) ・会員の情報について、事務局が仲介し、報道機関に情報提供する。
- ・伝承施設の活性化に向けて、事務局が仲介し、調整する。(ポスター・パネルの利用等)
- ・会員である大学等から他県の伝承の事例について、事務局が仲介し、会員間で情報共有する。
- ・会員企業の震災伝承に関する社会貢献活動や企業内研修の実施に向けて事務局が仲介し、他の会員とマッチングする。

○会員向けの研修や勉強会、取組事例の報告会の実施 (1月・3月に開催する交流会で実施予定)

NO, 7

宮城県
経済商工観光部
観光政策課

だからこそ宮城県で学ぶ
 心をはぐくみ
 未来をひらく
 みやぎでの学び

宮城県観光政策課
 みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター



みやぎでの教育旅行をオススメする理由



1. 生きた教材

- ◆ SDGs × 探究学習
- ◆ 多様な震災学習



2. 学校との連携

県内の高校や大学
 との連携による
 同世代どうしの学
 びと交流
 上級学校での学び



3. コーディネート

学校ごとのニーズに
 沿ったプログラムの
 ご提案やご紹介

1. 生きた教材

SDGs探究学習特化型プログラム

51 事業者

82 プログラム



課題に取り組むあらゆる分野の
方々からのご協力で造成

エネルギー 環境保全 なりわい 街づくり
防災・減災 歴史・文化・伝統の保全・・・
多岐にわたるキーワードから
学びたいことを見つけてください



児童・生徒のみなさんの
本気の学びにお応えします！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

プログラムの流れ SDGs 探究学習特化型プログラム

探究の過程に沿った3つのステップで学んでいただくプログラムです

※お申し込みは原則6ヶ月前まで

1



事前学習

現地学習で「聞きたいこと・見たいこと・ふれたいこと」をまとめ宮城県の窓口へご提出。



その情報を基にプログラムをご提案。受入先との調整を行います。

2



現地学習

地元の人との対話やふれあいを通じて、児童生徒自身のテーマの解決やSDGsについての理解を深めていただきます。



プログラムはご要望に沿って組み立てた内容を行います。

3



事後学習

地元の人から学んだことや、知識を深められたことなどをまとめて、宮城県の窓口までご提出。



宮城県で集約し受入先に共有します。

プログラムの例 82のプログラムから1つをご紹介します

34 宮城県の治水事業の歴史と日本一長い運河群

日本一長い運河群（貞山・東名・北上運河）の歴史・東日本大震災による津波の減災効果、運河沿川の復興計画や利活用状況などを学べます。

90分 プログラムの実施例

- 1 【座学】
貞山運河の歴史、地域とのつながり、
多重防御による減災効果などを解説

海岸公園センターハウス、海岸公園馬術場など、県内の会場出張して実施します。



- 2 【フィールドワーク】
貞山運河と周辺環境の観察

貞山運河の近くまで行き、観察をして学びます。

貞山運河の周辺はどのような
ようになっている？どんな生
き物がいるのでしょうか？

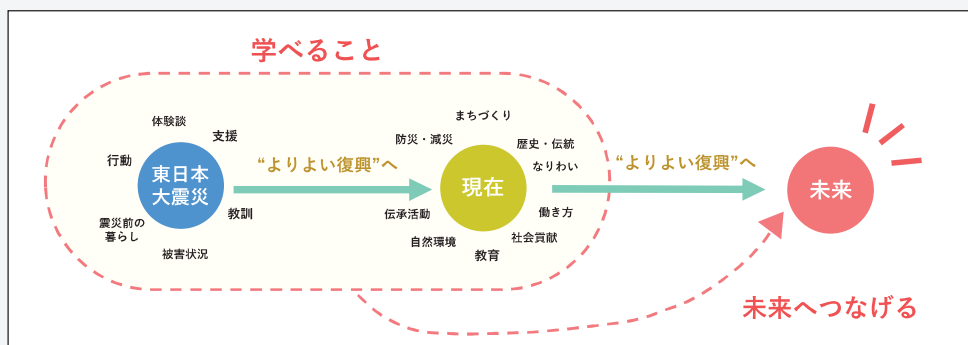


- 3 【ふりかえり】
気づきの共有・質疑応答



未来へつなげる 多様な震災学習

東日本大震災から11年の今、震災学習で学べることは、発生時の記憶と教訓に加え、以前よりも良い未来をつくろうと“よりよい復興”に取り組んできた様々な軌跡や、模索し続ける人々の生きる姿勢です。これからの未来を生きる児童・生徒に伝えたいことが宮城県にはあります。



<p>被害と教訓 見る知る</p> <p>被災状況を遺し災害の脅威を伝える建造物や教訓を伝える伝承施設が県内各所に整備されています。県全体で5棟ある学校校舎の震災遺構は、児童・生徒にとって災害が身近にあることを感じさせます。</p> 	<p>こえを 聴く</p> <p>バス案内、まちあるきなど様々な形で震災を伝える活動が行われています。語り部の声を聴き、命の尊さを考えること、震災を伝えること受け継ぐことの大切さも感じてほしいと考えています。</p> 
<p>防災を まなぶ</p> <p>ワークショップなど、東日本大震災の経験を元に考えられた学習プログラム、防災学習施設、防災講話等、災害に対する防災・減災意識を高める学習ができます。</p> 	<p>復興から まなぶ</p> <p>被災事業者等から再建への取り組みを聴き経験や知見を学ぶ、被災地域をささえる活動に参加し復興にたずさわるなど、復興にふれて学べるプログラム。生きる力を育む数々のヒントがあります。</p> 

3. コーディネート

みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター

行きたい！と来てほしい！の声をつなぎます



学校（検討中の学校も含む）

旅行会社

みやぎ教育旅行等
コーディネート支援センター

宮城県

県内市町村・観光協会・受入団体・学校など

マッチング成立
件数：1,728件
72,119人
(2011年10月～2021年3月)

連絡先

みやぎ教育旅行等
コーディネート支援センター
〒980-8570
仙台市青葉区本町3-8-1
TEL：022-265-8722
FAX：022-211-2829
E-mail：m-kyouiku@miyagi-kankou.or.jp

教育旅行参考資料のご紹介

宮城県教育旅行ガイドブック
「みやぎ感DO!プログラム」



WEB版は
こちらから



宮城で体験できる教育旅行メニューを網羅
冊子版とWEB版があります

宮城県沿岸部情報サイト
「みやぎ海への旅案内」



サイトは
こちらから



震災学習プログラム、震災遺構や伝承施設の情報、
モデルコースなどを掲載

【資料請求・お問い合わせ】 みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター
〒980-8570 仙台市青葉区本町3-8-1 TEL：022-265-8722 FAX：022-211-2829
E-mail：m-kyouiku@miyagi-kankou.or.jp

NO, 8

宮城県
水産林政部
森林整備課



みやぎ防災林はぐくみ育てる実践事業について

R4.12.26_水産林政部
森林整備課保安林班作成

1. 目的

海岸防災林を中心とした沿岸地域のにぎわいづくりのため、令和3年度から「グリーンコースプロジェクト」と称して、YouTube動画の制作や、バスツアーなど様々な普及事業を実施。

2. 今年度の取組状況について

(1) TVCM, YouTube広告による広報

(2) バスツアー開催

- ① 一般向け・・・若い世代を取込み、将来にわたって海岸防災林内で活動を行ってもらうため、海岸防災林の育林ボランティアと、沿岸地域の魅力に触れてもらうもの。
- ② 企業向け・・・海岸防災林を企業等のCSR活動の場として提案し、新たに関わってもらう企業を発掘するため、CSR担当者を対象とした育林作業体験と海岸防災林の活用法について学ぶもの。

【バスツアー概要】

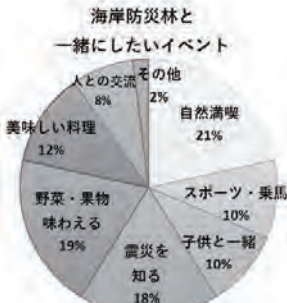
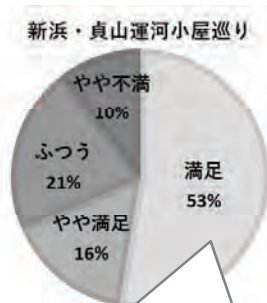
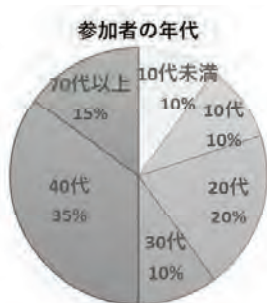
コース	東松島・七ヶ浜(11/19) (一般向け)	仙台 (11/20) (一般向け)	亘理(11/22) (企業向け)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・東松島市野蒜 (育林作業) ・KIBOTCHA (BBQ・施設案内) ・おはじきアートよがさき (アート見学) ・うみの駅七のや (買物) 	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市荒浜 (育林作業) ・JRフルーツパーク 仙台あらはま (BBQ) ・※小屋巡りスタンプラリー ウォーキング ・アクアイグニス仙台 (買物) 	<ul style="list-style-type: none"> ・亘理町吉田浜 (育林作業) ・わたり温泉鳥の海 (はらこ飯) ・研修会 ※海岸防災林の活用法について ・金蛇水神社(見学)
参加料金	4,900円	4,900円	4,000円
参加人数	15名 (大人11名, 子供4名)	22名 (大人18名, 子供4名)	15名 (6社)

※小屋巡りスタンプラリーウォーキング

仙台市宮城野区岡田新浜地区において、貞山運河に沿って、アーティストや建築家が手がけた作品や、農家さんが手がけた小屋をめぐるもの。



バスツアーアンケート結果 (仙台)



○新浜にこんなに素敵なコースがあるとは知らなかった。(30代:女性)
 ○地元の知らないことを知ることが出来て良かった。(40代:男性)
 ○アートに興味がある。今日のツアーで環境や復興とアートのコラボ的な要素が面白いと思った。(20代:男性)



NO, 9

NPO法人ひたかみ水の里



ひたかみ水の里のこれまで



75

ひたかみ水の里のこれまで

1998年

- ひたかみ水の里 子ども自然体験楽校を設立

1999年

- 石巻で2番目にNPO法人化(現存で最古)
- 住吉小学校の協力で初めての総合学習実施
- 小学生対象のめだかっこクラブを開始

2002年

- 第1回子どもサミット開催

2003年

- 宮城県のスマイルサポーターに認定

2005年

- 県から教員(小学校～高校先生)の10年目NPO体験研修を初めて実施

2011年 東日本大震災の年

- 3校の小学校がカヌー体験を実施

を設 2014年

- 国土交通省の河川協力団体に指定される

2015年

- 国土交通省の「ミズベリング プロジェクト」に東北初としてミズベリング石巻をスタート

2020年 新型コロナウイルスが流行

- 小中学校の体験から地域の親子体験にシフト
- 石巻観光協会、街づくりまんぼうと協働で石ノ森漫画館周辺の水辺の利活用イベント実施

2021年

- 初代代表の新井偉夫急逝、新井高広が代表に
- 東京オリンピックにてめだかっこクラブのOBが聖火リレーに選ばれる

2022年

- B&G海洋クラブに認定される

設立のきっかけ・なぜ水を選んだのか？

1989年ほど前に九州の柳川市で水郷水都全国大会が開催され向こうの市議会議員の方と一緒に参加した。

そこで発表されていた各団体の自然への保全や復活の取り組みに感銘を受け、地元の水辺でも何かできないかと思いサンファンの復元事業や北上川流域連携交流会の設立を経て1998年に石巻で「ひたかみ水の里」を設立。

※ちなみに「ひたかみ」とは昔に北上川の流域にあった「日高見の国」の日高見(ひたかみ)から拝借しています。

77

活動目的

地域の人に身近な自然に触れての楽しさや怖さなどの体感してもらい自然の大切さ、興味を持ってもらう



そのために

子どもや大人にも楽しめる場を提供

78

ひたかみ水の里の事業

- 子どもの体験学習

めだかっこクラブ、小中学校の総合学習支援、親子対象にしたカヌー体験など

- 河川の除草、清掃活動

石井閘門周辺や北北上運河などの除草、清掃活動

- 水辺のイベント

旧北上川の堤防を利活用したイベント(カヌー体験、出店など)

79

めだかっこクラブ

毎週土曜日に地域の子ども達対象にした自然体験を実施



水質調査



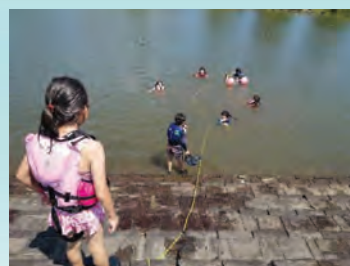
カヌー体験



アウトドアクッキング



キャンプ



水難訓練

80

小中学校の総合学習支援



下伊場野小学校



81

親子体験



河川調査、除草



83

水辺のイベント



84



ありがとうございました

NO, 10

すばらしい北北上運河沿線
の自然環境を守る協議会

第1回みやぎの運河群連絡調整会議

令和4年12月26日

すばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会

会長 藤井 勝
発表者 松川 文洋



87

すばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会

目的	美しい北北上運河沿線の自然環境を整備し、後世に残していく
発足	2014年
メンバー	石巻市の町内会（清水町、貞山、新橋、大街道、中里、釜、蛇田など）の市民約40名（プラス各活動時に市民、行政、企業などボランティアの方々）
活動場所	釜閘門～石井閘門 （約5 km）



宮城県公式Webサイトより

88

取組紹介① 雑木雑草除去、植栽、清掃

- ▶ 繁茂時期（4～10月、隔週土曜）
周辺住民、行政、企業とともに雑木雑草除去
- ▶ 春
桜並木の植栽94本（目標180本！）
- ▶ 通年
清掃、植栽をした木（桜・どんぐり）の手入れ

毎年延べ500～600名程度の
市民、行政、企業の方々に
ご協力いただいております。

取組紹介② 設備修繕、設置

- ▶ ベンチ等の設備修繕
- ▶ 石巻市への陳情活動により、
遊歩道に四阿・トイレを設置

宮城県産木材を利用。
個人寄贈のテーブルとイスを設置。
市民の休憩と交流の場となることを期待。



2021年5月30日河北新報ONLINEより

取組紹介③ 広報

- ▶ 自然環境視察 & 意見交換会
(with国土交通省・宮城県・石巻市)
- ▶ 環境保護活動PRののぼり旗の制作
- ▶ 貞山小学校での講話
(治水の歴史、カヌー教室(コロナ禍中止))

活動内容を河北新報やタウン誌等に掲載いただき、地域の皆様に関心をもっていていただいております。



[2021年9月2日河北新報ONLINEより](#)

NO, 11

貞山・北上・東名運河研究会

「貞山・北上・東名運河研究会」の活動紹介 (その1)

貞山・北上・東名運河研究会は、2013年8月に結成、土木技術者・研究者などを中心に、東日本震災後の野蒜築港・北上運河・東名運河・貞山運河等の土木遺産（石積護岸など）の被災調査や地域づくりの支援を行い、多賀城高校生による蒲生の復興計画や東名運河など日本一長い運河群の石積護岸の再生復興計画をサポートしてきました。同時に、潮汐や農業排水などによる運河群の水質鉛直分布の経時変化の観測を継続し、水辺環境の創生支援を進めています。また、地形の成り立ちから野蒜築港・北上運河・東名運河・貞山運河の歴史をひも解き、歴史・環境・防災教育の教材提供を目指して活動中です。以下に2015年度からの活動を紹介します。

団体名 貞山・北上・東名運河研究会

代表者名 後藤 光亀

活動年月日	活動場所	活動内容	参加名数 (約)
2015			
4.27	貞山運河・北上運河・東名運河	水質調査	2名
5.20	北上運河	水質鉛直分布調査	2名
5.27	東名運河	水質鉛直分布調査	2名
7.1~2	貞山運河・農業排水路	水質調査	3名
7.18	東名運河	復興工事中の井内石積護岸の現地調査	2名
8. 5	東名運河	水質鉛直分布調査	2名
8.19~20	東名運河	水質鉛直分布調査24時間連続調査	2名
10.17	塩釜市	日本一長い運河群の話題提供 地形と運河群の変遷	40名
11.17	塩釜市	寒風沢湊の現地調査	2名
2016			
1.20	石巻市・定川北閘門	復興工事中の土木遺産調査	2名
1.30	仙台市	東名運河の研究調査報告	10名
2.12	東松島市	特別名勝松島グランドデザイン指導委員会	12名
2.18	定川北閘門（通称：釜閘門）	土木遺産調査	5名
2.25	仙台市	井内石 石積み護岸の研究会	5名
3.10	東松島市	特別名勝松島グランドデザイン指導委員会	12名
4.19	北上運河・東名運河	水質鉛直分布調査（運河の橋上から計測）	2名
4.21	東名運河	水質鉛直分布調査	2名
4.24	木曳堀	水質鉛直分布調査	2名
4.26	七北田川・新堀・農業排水路	水質鉛直分布調査	3名
4.27	北上運河	水質鉛直分布調査	2名
4.30	御舟入堀・仙台港	水質鉛直分布調査	3名
5. 8	木曳堀	水質鉛直分布調査	2名
5. 9	貞山運河	水質鉛直分布調査	2名
5.12	松島湾・東名運河・鳴瀬川・北上運河	水質鉛直分布調査	2名
5.14	新堀・仙台港	水質鉛直分布調査	2名
5.15	名取川・関上港・木曳堀・阿武隈川	水質鉛直分布調査	2名
6. 8	(株)パスコ	仙台湾岸地形データの収集と解析	3名
6.13	定川北閘門	土木遺産調査	2名
6.29	定川北閘門	土木遺産調査	2名

7. 6	松島湾・東名運河	水質鉛直分布調査	2名
7. 7	東名運河	水質鉛直分布調査	2名
7. 8	東名運河	水質鉛直分布調査	2名
7.10	東名運河	水質鉛直分布調査	2名
7.12	東名運河	水質鉛直分布調査	2名
7.20	東名運河	水質鉛直分布調査・流動調査	2名
	定川北閘門	土木遺産調査	15名
7.21	東名運河	水質鉛直分布調査・流動調査	2名
8.26	蒲生護岸	発掘調査	2名
9. 4	石巻市	基調講演「震災5年と東北名100年 日本一長い運河群の津波被災と復興創生に ついて」主催：第32回全国住宅会議セミナー	50名
9.30	東名運河	水質鉛直分布調査	2名
10. 8	御舟入堀	水質鉛直分布調査	2名
10.10	木曳堀・阿武隈川	水質鉛直分布調査	2名
11. 1	東名運河	水質鉛直分布調査	2名
11.13	木曳堀	水質鉛直分布調査	2名
11.14	新堀・仙台港・御舟入堀	水質鉛直分布調査	2名
11.15	松島湾・東名運河	水質鉛直分布調査	2名
11.16	木曳堀・新堀	水質鉛直分布調査	2名
11.19	東松島市	講演 東名運河を活かしたまちづくり「東 名運河と野蒜の今昔物語」ひがしまつしま福 幸まつりプレイベント 主催：東松島市	60名
12.17	荒井駅3.11メモリアルホール	講演「蒲生の貞山運河遺構の今後を考え る」主催：里山ネットワーク	40名
2017			
1.13	仙台市	研究会「井内石の石積み護岸(1)」	8名
1.28	石巻専修大学	北上川改修400年記念・川村孫兵衛シンポジ ウム 基調講演「北上川改修と川村孫兵 衛一地形と地名に学ぶ先名の土地利用とこ れからの防災意識」主催：国土交通省北上 川下流河川事務所	200名
2. 3	仙台市	講演 日本一長い貞山運河・北上運河・東 名運河 主催：日本建設業連合会	100名
2.11	東松島市	文化庁「地域の核となる美術館・博物館支援事 業」東名運河座談会 運河のあるまちづくり～東 名運河を活かしたまちづくり～ 講演「未来に つなぐ奥松島のたから」+現地見学会 共催：東松島市	80名
2.17	仙台市	研究会「井内石の石積み護岸(2)」	8名
3. 3	定川北閘門	土木遺産調査	5名
3. 9	定川北閘門	北上運河の土木遺産調査	15名

3.28	石巻グランドホテル	基調講演「北上川ものがたり—地形と地名に学ぶ先名の土地利用とこれからの防災意識」主催：石巻商工会議所「地域政策研究懇談会」	150名
4.25	東松島市	大浜湿地整備活用指導委員会	12名
5.12	仙台市蒲生・御蔵	土木遺産調査＋地中探査	10名
	野蒜海岸	地形と植生調査	2名
5.19	七ヶ浜	仙台湾岸の地質調査	2名
5.20	代ヶ崎・塩釜	仙台湾岸の地質調査	2名
5.25	仙台二華高校	SGHプログラム 講義「地形とくらし～地形の成り立ちと水環境～」	120名
6. 3	大代堀	清掃と地質調査	30名
6 .6	仙台市AER	講演「仙台湾岸の水と砂のものがたり～復興創生と防災教育～」第8回環境キャリアネットワークフォーラム	30名
6.10	松島湾岸	地質調査	4名
6.23	仙台市 パレスへいあん	講演「仙台湾岸の水と砂のものがたり～復興創生と防災教育～」第44回東北地区安全推進大会	100名
6.25	仙台市 市民活動サポートセンター	土木学会選奨土木遺産認定記念フォーラム 講演「四ツ谷用水」「仙台レンガ下水道」	80名
6.30	仙台市	研究会「松島湾の地質調査」	5名
7. 6	仙台仙台二華高校	SGHプログラムを指導	30名
7.30	北上川	北上川の地形と地名調査	5名
8.4～8.6	東名運河・洲崎湿地	水質・生物調査	3名
8. 5	東名運河	水質鉛直分布調査	2名
8. 6	宮戸島	地質調査	2名
	洲崎湿地	水質鉛直分布調査	1名
8.15～16	東名運河・洲崎湿地	水質・生き物調査	3名
8.17	仙台市宮城西市民センター	講演「仙山線の歴史を辿る」(主催)宮城西部地区今昔物語	50名
8.19	東名運河	水質鉛直分布調査	1名
	東名運河・洲崎湿地	水質・生き物調査	2名
8.20	洲崎湿地	水質鉛直分布調査	1名
8.26	東名運河・洲崎湿地	水質・生き物調査	3名
8.27	東名運河・洲崎湿地	水質鉛直分布調査	1名
8.28	松島湾・桂島・野ノ島	水質鉛直分布調査	3名
9. 2	洲崎湿地	水質鉛直分布調査	2名
9.2～4	東名運河・洲崎湿地	水質・生き物調査	3名
9. 9	東松島市 野蒜市民センター	野蒜・東名運河フォーラム 講演「新・魅力発見！ 奥松島のたからもの～運河・海岸・陸の松島を歩こう～ 共催:東松島市	
9.14	仙台二華高校	SGHプログラム講義	30名
9.18	北上運河・野蒜海岸	地形・測量調査	2名

11. 7	仙台二華高校	SGHプログラム「地形とくらし～地形の成り立ちと水環境～」	120名
11.10	仙台市	研究会「仙台湾岸の地形（1）」	8名
11.24	仙台市	研究会「仙台湾岸の地形（2）」	8名
11.28～29	宮城県日南市	全国運河サミット開催の下見 宮城県河川課長ら	4名
12. 1	仙台市	全国運河サミット実行委員会 アドバイザー参加	30名
12. 9	仙台市国際センター	土木学会東北支部80周年記念シンポジウム 講演「東北の土木遺産」	200名
12.10	仙台市	話題提供「仙山線全通80周年フォーラム」	60名
12.14	仙台二華高校	SGHプログラム講義	30名
12.19	仙台市 駅東交流センター	平成29年度仙台市近代遺産活性化事業 講演 「X橋物語～土木遺産としてのX橋～」	30名
2018			
1.11	野蒜海岸・洲崎湿地	水質鉛直分布調査	2名
1.14	東松島市 野蒜市民センター	野蒜・東名運河座談会 講演「被災した野蒜海岸の再生に向けて～洲崎湿地の生き物調査からみた現状と今後の展開～」 共催：東松島市	50名
1.18	仙台市	研究会「仙台湾岸の地形（3）」	8名
1.28	ふれあいエスプ塩釜	第2回親子で学ぶ貞山運河歴史教室 講演「日本一長い貞山・北上・東名運河の歴史」 主催：貞山運河「御舟入堀」プロジェクト	50名
2. 8	仙台二華高校	SGHプログラム講義	30名
2. 9	松島湾	塩釜～浜田の地質調査	2名
2.25	東松島市 野蒜市民センター	野蒜・東名運河座談会 講演「野蒜のたからを活かした観光まちづくり～歴史・環境・防災・教育・観光の拠点に！」 共催：東松島市	50名
3. 2	仙台市	全国運河サミットWG	20名
3.27	仙台市	全国運河サミット実行員会	25名
5.11	東名運河・洲崎湿地	水質鉛直分布調査	2名
5.12	東名運河・北上運河	水質鉛直分布調査	2名
5.15	木曳堀	水質鉛直分布調査	2名
5.16	御舟入堀・農業排水路	水質鉛直分布調査	2名
6.16	郡山市 日本大学工学部	第38回土木史研究発表会 「野蒜築港関連事業から学ぶもの」他	40名
6.22	東名運河	外来種オオキンケイギク植生調査	2名
7.17	東名運河	水質鉛直分布調査	2名
7.21	仙台市 田子2丁目集会所	講演「水害が起こる訳を知ろう会」	20名
7.24	東名運河・野蒜海岸	地形・測量調査	2名
7.25	洲崎湿地	水質鉛直分布調査	2名
7.26	松島湾内 寒風沢島など	水質鉛直分布調査	2名
7.30	洲崎湿地・野蒜海岸	地形・測量調査	2名

7.31	野蒜海岸	地形・測量調査	2名
8.7	東名運河・洲崎湿地	水質鉛直分布調査・流動調査	2名
8.11	東名運河・洲崎湿地	水質鉛直分布調査	2名
8.12	東名運河	水質鉛直分布調査	2名
8.13	洲崎湿地	水質鉛直分布調査	2名
8.17	東名運河	水質鉛直分布調査	2名
9.22	野蒜市民センター	野蒜築港着工140周年記念フォーラム 講演 「野蒜築港に繋げ、日本一長い運河群と新 道開削～地形から見る水の道・土の道・鉄の道	60名
9.29	仙台市宮城西市民センター	宮城西部地区今昔物語～大倉ダム周辺～ 講演「大倉ダムの魅力再発見～土木遺産と しての魅力～」	40名
10.26	仙台市国際センター	全国運河サミットinみやぎ パネル討論アドバイザー参加と展示	300名
2019			
1.4	洲崎湿地	水質鉛直分布調査	2名
1.20	洲崎湿地	水質鉛直分布調査	2名
2.5	洲崎湿地	水質鉛直分布調査	2名
2.14	東名運河	水質鉛直分布調査	2名
2.17	野蒜海岸	地形の成り立ち・測量調査	2名
2.26	山形グランドホテル	山形・仙台広域交流推進協議会 公開セミナー 基調講演「仙山線の新魅力発見 東北の地 形の成り立ちと土木学会選奨土木遺産」	150名
3.3	野蒜市民センター	野蒜・東名運河座談会～野蒜築港を活かしたまち づくり～ 講演「歴史かおる明治三大築港の 連携 ～測量図を地中に残された野蒜築港の市 街地整備～」 共催：東松島市	60名
3.5	洲崎湿地	水質鉛直分布調査	5名
3.10	仙台市 駅東交流センター	第2回仙台駅東歴史自慢マップ 講座とまち歩き「X橋界限の新魅力発見」	30名
3.12	東名運河・洲崎湿地	水質鉛直分布調査	2名
3.26	東名運河・洲崎湿地	水質鉛直分布調査	2名
4.5	北上運河	マツの植生・年輪調査	5名
6.1	仙台市 駅東交流センター	サロン・ド・ドリームスターズ 講演「人と鉄道の拠点！ 仙台駅 ～火の 道・水の道・土の道・鉄の道～」	40名
6.16	仙台市 田子2丁目集会所	講演「災害を正しく恐れる？～みんなで一 緒に考えよう！～」	20名
8.21	野蒜海岸	地形・測量調査	2名
8.21	仙台二華高校	北上川フィールドワークに向けて 事前講義	240名
8.22	野蒜海岸	地形・測量調査	3名
8.27	野蒜海岸	海浜植生調査	2名
8.29	野蒜海岸	地形・測量調査	2名

8.31	野蒜海岸	地形・測量調査	2名
9. 1	仙台市 荒浜里海ロッジ	生活ネットワーク 第6回総会 講演「貞山・北上・東名運河研究会と野蒜 塾の連携について～野蒜海岸・東名運河・洲崎 湿地での取り組み～」	30名
9. 5	野蒜海岸	地形・測量調査	2名
	洲崎湿地	水質鉛直分布調査	2名
9. 7	野蒜海岸	地形・測量調査	2名
9.14	鳴瀬川、北上運河	地形・測量調査	2名
	洲崎湿地	水質鉛直分布調査	2名
9.26	北上川 江合川合流（石巻市）、 北上川分流施設群（登米市）	仙台二華高校 北上川フィールドワーク	70名
9.17	洲崎湿地	水質鉛直分布調査	2名
9.27	福島駅東口こむこむ館	とうほく街道会議 第15回交流会 万世大路福島大会 講演「土木遺産としての 万世大路を楽しむ」	150名
11.9	野蒜市民センター	野蒜築港フォーラム パネル討論会「東北をつ なげ、幻の港・野蒜築港」	60名
11.9	東名運河、松島湾	野蒜築港フォーラム 「野蒜築港 サンセッ ト・ムーンライズ・クルージング」	20名
11.10	野蒜築港市街地跡、東名運河、 野蒜海岸、二線堤、洲崎湿地	野蒜築港見学会	35名
12. 8	野蒜市民センター	「未来につなぐ奥松島のたから」再生・活用実行 委員会 幻の港 野蒜築港がつなぐ～未来へ繋 ぐ野蒜のたから～ 座談会「明治三大築港の いま、そして、これから」	60名
12.19	仙台市 駅東交流センター	平成31年度仙台文化遺産活性化事業 「これからのX橋」	30名
2020			
1～12月	週に約1回の頻度で 東名運河・野蒜海岸・洲崎湿地周辺の水環境・生態系調査を実施		
2.16	仙台市 鶴ヶ谷市民センター	「鶴ヶ谷地区・多世代交流まちづくり事業 えが おプロジェクト」まるっとつるがや地元学講座 講演「鶴ヶ谷お宝再発見～大堤沼～」	80名
7.16	仙台二華高校	講義「標高段彩図から見る仙台湾岸の水環 境～被災を受けた野蒜海岸・「奇跡の湿地」洲 崎湿地の水環境から学ぶもの～」	30名
9. 1	仙台二華高校	北上川フィールドワークに向けて 事前講義	240名
10. 1	東名運河・鳴瀬川・野蒜築港跡 野蒜海岸・洲崎湿地	仙台二華高校 北上川フィールドワーク ～野蒜海岸・洲崎湿地編～ 鳴瀬川と野蒜海 岸 水と砂のものがたり 河口堆砂、野蒜築港の 頓挫、東名運河の開削理由など	100名

10.31	石巻市ささえあいセンター	石井閘門完成記念祝典プログラム 石井閘門完成140周年記念講演「石井閘門が伝える明治の技術～地形の成り立ちを学ぶ～先人の知恵・地名とくらしを支える土木技術」	100名
11.17	仙台二華高校	課題研究「水環境・生態系ゼミ」指導	30名
12. 8	仙台二華高校	課題研究「水環境・生態系ゼミ」指導	30名
12.27	東名運河、野蒜海岸、洲崎湿地	仙台二華高校 野蒜海岸・洲崎湿地の水環境・生態系調査	10名
2021			
1～12月	週に約1回の頻度で 東名運河・野蒜海岸・洲崎湿地周辺の水環境・生態系調査を実施		
3.13	野蒜市民センター	高校生が見る野蒜海岸・洲崎湿地の今 報告会～次世代につなぐ～	60名
5.18	石巻工業高校	地形の成り立ちを学ぶ～地理院地図を学ぶ(1)～	20名
5.25	石巻工業高校	地形の成り立ちを学ぶ～地理院地図を学ぶ(2)～	20名
5.29	東名運河、野蒜海岸、洲崎湿地	仙台二華高校 野蒜海岸・洲崎湿地の現地調査	12名
6. 1	石巻工業高校	地形の成り立ちを学ぶ～地理院地図を学ぶ(3)～	20名
7.18	東松島市 亀岡地区集会所	高校生が見る野蒜海岸・洲崎湿地の今 報告会&現地見学会	70名
8. 3	宮城野高校	国土地理院地図データを用いた防災・減災マップの作成	20名
8.28	仙台市 田子市民センター	御舟入堀と御蔵の歴史と文化を学ぶ会 講演「仙台湾の日本一長い運河群の歴史と概要～貞山運河・北上運河・東名運河～」	40名
8.31	仙台二華高校	北上川フィールドワークに向けて 事前講義	120名
9.14	仙台二華高校	北上川フィールドワークに向けて 事前講義	120名
10. 1	東名運河・鳴瀬川・野蒜築港跡 野蒜海岸・洲崎湿地	仙台二華高校 北上川フィールドワーク～野蒜海岸・洲崎湿地編～ 鳴瀬川と野蒜海岸 水と砂のものがたり 河口堆砂、野蒜築港の頓挫、東名運河の開削理由など	100名
11. 9	仙台二華高校	課題研究Ⅰ「水環境・生態系ゼミ」指導	30名
11.24	東松島市 大曲市民センター	宮城いきいき学園石巻校 講演「地形の成り立ちと土木遺産に学ぶ野蒜築港と運河群」	20名
12. 1	東松島市 キボッチャ	第1回 地形の見える化講座	12名
12.14	仙台二華高校	課題研究Ⅰ「水環境・生態系ゼミ」指導	30名
12.16	仙台市 駅東交流センター	「これからのX橋」	30名
2022			
1～12月	週に約1回の頻度で 東名運河・野蒜海岸・洲崎湿地周辺の水環境・生態系調査を実施		
1.17	東松島市 キボッチャ	第2回 地形の見える化講座	12名

2.14	東松島市 キボッチャ	第3回 地形の見える化講座	12名
2.24	仙台市 仙都会館	令和3年度第2回東北ブロック地理空間情報産学官地域連携協議会 講演「地域における地理空間情報活用と人材育成の取り組み～野蒜海岸・洲崎湿地の地形の成り立ちと歴史・環境・防災教育～」	20名
3.12	野蒜築港市街地跡・東名運河・北上運河・石井閘門	JR東日本「東北歴史文化講座」現地講座 ガイド「明治日本が夢見た東北開発 三大土木遺産が語る国家プロジェクト 野蒜築港～水と砂のものがたり～」	35名
3.23	東松島市 キボッチャ	第4回 地形の見える化講座	12名
4.28	仙台二華高校	課題研究II「水環境・生態系」の指導	6名
5. 8	野蒜海岸・洲崎湿地	仙台二華高校の現地調査を指導	10名
5.10	東松島市	東松島市の小中学校の校長会で外来生物の駆除に関する話題を提供	30名
7. 3	野蒜海岸・洲崎湿地	仙台二華高校の現地調査を指導	10名
7.10	東松島市亀岡集会所、 東名運河、野蒜築港跡、 野蒜海岸、防災林、洲崎湿地	高校生とみる「野蒜海岸・洲崎湿地」水辺環境フォーラム＋現地見学会	80名
8.10	野蒜海岸・洲崎湿地	仙台二華高校の現地調査を指導	10名
8.30	仙台二華高校	北上川フィールドワークに向けて 事前講義	120名
9.27	仙台二華高校	北上川フィールドワークに向けて 事前講義	120名
9.28	東松島市 コミュニティセンター	宮城いきいき学園石巻校 講演「地形の成り立ちと土木遺産に学ぶ野蒜築港と運河群」	20名
9.29	東名運河・鳴瀬川・野蒜築港跡 野蒜海岸・洲崎湿地	仙台二華高校 北上川フィールドワーク ～野蒜海岸・洲崎湿地編～ 鳴瀬川と野蒜海岸 水と砂のものがたり 河口堆砂、野蒜築港の頓挫、東名運河の開削理由など	100名
11. 8	仙台二華高校	GS課題研究「水環境・生態系ゼミ」指導	30名
11.13	野蒜市民センター	野蒜築港開港140周年記念フォーラム 東北の三大土木遺産「野蒜築港・安積疏水・万世大路」に見るオランダ名技術者の足跡と共に 講演「野蒜築港と日本一長い貞山運河・北上運河・東名運河の水辺環境の変遷～水と砂のものがたりと共に、なぜ、幻の港へ～」	50名
11.14	東名運河、鳴瀬川河口、野蒜築港跡、 北上運河、定川北閘門、石井閘門	11/13の話題提供者と共に明治期の近代土木遺産の技術を学ぶ	5名

野蒜築港開港140周年記念フォーラム&見学会

東北の三大土木遺産「野蒜築港・安積疏水・万世大路」に見るオランダ人土木技術者の足跡と共に

日時：令和4（2022）年11月13日（日） 09：50：00～14：30

場所：東松島市 野蒜市民センター

幕末から明治初期、近代化を目指す日本は、欧米の近代化技術を積極的に取り入れます。その中で、東北の三大近代化遺産である野蒜築港、安積疏水、万世大路はオランダ人が係わりました。一方、地元にも優れた土木技術者がこれらの事業に係わり日本の近代化を支えました。今回は、東北の地形の成り立ちと共に、日本の近代化におけるオランダ人の立ち位置と日本人技術者の活躍に注目します。

基調講演「明治の近代化技術導入期におけるオランダ人技術者の役割」

野蒜築港・安積疏水・万世大路に見るオランダ人技術者の足跡

（公社）土木学会 土木史委員会 委員長、（公社）土木学会 東北支部選奨土木遺産選考委員会 委員長
日本大学 准教授 工学部土木工学科 知野泰明

話題提供(1)「野蒜築港と日本一長い貞山運河・北上運河・東名運河の水辺環境の変遷

～水と砂のものがたりと共に、なぜ、幻の港へ～

東北土木遺産研究所 所長、貞山・北上・東名運河研究会 世話人代表、野蒜塾 代表 後藤光亀

話題提供(2)「安積疏水での県内外の日本技術者の活躍とその後の近代土木技術の展開」

日本大学 准教授 工学部土木工学科 知野泰明

話題提供(3)「土木遺産・万世大路の保全と利活用の実践」

米沢前田慶次の会 会長、歴史の道土木遺産・萬世大路保存会会長 梅津幸保

総合討論

進行役 貞山・北上・東名運河研究会 後藤光亀

参加者と共に、東北の三大土木遺産の顕彰と今後の地域づくりの展開について、情報と意見交換を行います。

The poster features a collage of images related to the event, including historical sites like Nozaki Port, Ansei Koseki, and Myosei Doro. It contains detailed text about the forum's schedule, speakers, and topics. The main title is '野蒜築港 開港140周年記念フォーラム'. Below the title, it lists the date and time: '日時：令和4（2022）年11月13日（日）09：50：00～14：30' and the location: '場所：東松島市 野蒜市民センター'. The poster also includes a section for a 'Nozaki Port Sunset Cruise' with its own schedule and details. The bottom part of the poster lists the organizers and sponsors.

主催：貞山・北上・東名運河研究会、野蒜塾、東北土木遺産研究所

共催：（公社）土木学会東北支部選奨土木遺産選考委員会、野蒜築港ファンクラブ

後援：国土交通省東北地方整備局 北上川下流河川事務所、国土地理院 東北地方測量部、宮城県、東松島市、東松島市教育委員会、野蒜まちづくり協議会、関山街道フォーラム協議会

連絡先：貞山・北上・東名運河研究会 後藤光亀 090-4476-0810 メール：kokigotoh@gmail.com



楽しいフォーラムでした。懇談会も楽しく、美味しく、交流を深めました！

参加者は、東松島市内、野蒜地区18名+その他6名、石巻市9名、大崎市1名、仙台市8名、米沢市1名、郡山市1名、不明3名の合計47名でした。東松島市外からも多くの方々の参加を頂き、総合討論では有意義な意見・情報交換ができました。また、アンケート調査からも大変有意義な企画であったとの高い評価を頂きました。

野蒜築港（宮城県）、安積疏水（福島県）、万世大路（山形・福島県）は、明治期の東北の近代化土木技術を代表し、その後の日本の近代化の礎を担った土木遺産群です。今後も、東北の交通網の扇の要を担うはずだった野蒜築港や日本一長い運河群の役割を踏まえ、広く各地との連携を進めていきたいと思います。

○ 話題提供者のレジメより

基調講演『明治の近代化技術導入におけるオランダ人技術者の役割』

～野蒜築港・安積疏水・万世大路に見るオランダ人技術者の足跡～ 日本大学工学部土木工学科准教授 知野泰明

1. 野蒜築港と安積疏水（猪苗代湖疏水）
2. 野蒜築港と安積疏水の着工を具体化させた明治初頭という時代
 - 2.1 来日した「人」と「技術」
 - 2.2 【参考】江戸時代以来の河川の利用と技術（治水と利水と舟運）
 - 2.3 オランダ人技術者が考えていたこと
3. ファン・ドールンが果たした役割
 - 3.1 ドールンの経歴と在日中の活動
 - 3.2 安積疏水（猪苗代湖疏水）事業にみる技術と役割
 - 3.3 野蒜築港にみる技術と役割
4. 文化財となった『安積疏水』そして、明治初頭の三大築港『野蒜港、三国港、三角港』
5. そして時代をつなぐ

話題提供(1)『野蒜築港と日本一長い貞山運河・北上運河・東名運河の水辺環境の変遷

～水と砂のものがたりと共に、なぜ、幻の港へ～

東北土木遺産研究所 所長、貞山・北上・東名運河研究会 世話人代表、野蒜塾 代表 後藤光亀

1. 東北の地形の成り立ちと東北三大近代土木遺産
 - 野蒜築港 粘板岩（井内石・稲井石）、凝灰岩（野蒜石…）
 - 万世大路～石橋群 凝灰岩（高畑石…）
 - 安積疏水+石橋群 花崗岩

2. オランダ人技術者の計画・指導と日本人土木技術者の活躍

岩倉使節団：明治4年から欧米諸国を1年10ヶ月かけて視察。国力の差を痛感した岩倉具視、大久保利通（旧薩摩藩）らは「富国強兵」をスローガンに、新産業を育成する「殖産興業」を図る近代化を推進。

野蒜築港：ドーレン、ムルデル、石井省一郎（旧小倉藩）、早川智寛（旧小倉藩）…

黒澤敬徳（旧幕府旗本）、貞山堀改修：遠呂容吉（工部大学校・明治13年卒）…

万世大路：エッセル、三島通庸（旧薩摩藩）、高木秀明（旧薩摩藩）、須藤兵八郎（旧米沢藩）、

石橋：奥野忠蔵（旧薩摩藩）、地元の石工・吉田善之助（南陽市）…

安積疏水：ドーレン、安場保和（旧肥後細川藩・岩倉使節団）、中條政恒（旧米沢藩）、

南一郎平（地元・大分の石工を使う）、伊藤直記（福島県田村郡）、山田寅彦（旧福岡藩）、

新渡戸七郎（旧南部藩）…

3. 水と砂のものがたりと共に ～野蒜海岸の地形～

東名運河の開削

野蒜築港：幻の港へ（明治三大築港の教訓、三国港・エッセル、三角港：ムルデル）

今も続く…、水と砂のものがたり

4. 野蒜築港と日本一長い貞山運河・北上運河・東名運河の水辺環境

震災時… 震災後… そして、これから…

野蒜築港に関連して宮城県が実施した堀の拡幅改修にあたり、明治17年3月発行の日本工学会「工学叢誌」に、貞山堀出張所長・遠呂（つじむら）容吉が「貞山堀鑿開ノ設計」を発表。その中で「余輩ハ…三水路ノ為ニ別名ヲ附スル…新タニ全線路ヲ稱シテ貞山堀ト云フノ利アリテ且ツ因縁アルニ…固ク信ジテ疑ハサルナリ」とあり、木曳堀・新堀・御舟入堀3水路を「貞山堀」と命名。

明治22年5月に宮城県は「運河取締規則」を定めた。その中に「第1条 本則ニ於テ運河ト稱スルハ野蒜東名及貞山ノ各運河ヲ云フ」とし、貞山堀が「貞山運河」と名称を変更する。

宮城県は、明治22年に3つの運河「野蒜（北上）運河・東名運河・貞山運河」を定義している。

話題提供(2) 『安積疏水での県内外の日本技術者の活躍とその後の近代土木技術の展開』

～明治11（1878）年の測量日誌にみるファン・ドーレンの郡山滞在6日間を中心に～

日本大学工学部土木工学科准教授 知野 泰明

1. 地形からみた安積疏水（猪苗代湖疏水）が流れる仕組み
2. 安積疏水を実現した人々（計画と工事関係者）～
3. 安積疏水を実現した明治初頭という時代
4. 安積疏水工事が始まる前年 明治11（1878）年の出来事
 - 4.1 明治11（1878）年に至るまでの出来事
 - 4.2 明治11（1878）年の出来事
 - 4.3 測量日誌と、そこに記録されたファン・ドーレンの郡山滞在6日間（明治11（1878）年 11月1日～6日）
 - 4.4 そして翌12年に工事は始まり、15年に完成
5. 安積疏水につながる技術と人
6. おわりに

話題提供(3) 「土木遺産・萬世大路の保全と利活用の実践」

米沢前田慶次の会 会長、歴史の道土木遺産・萬世大路保存 会長 梅津幸保

- 1 萬世大路建設と開通
 - ① 明治9年山形県初代県令三島通庸就任
 - ② 当時の山形の道路事情
 - ③ 刈安新道と中野新道
 - ④ 栗子山隧道工事の困難
 - ⑤ 萬世大路の開通（初代、2世代、3世代、東北中央自動車道）
 - ⑥ 山形応用地質研究会との交流
- 2 県内各地の道路建設
 - ① 秋田県、宮城県、福島県、新潟県との交流
 - ② 橋梁に石橋を採用
 - ③ 英国女流旅行家イザベラ・バードが見た本件道路日行

3 三島の和歌

- ・ 抜けたりと 呼ぶ一声に 夢さめて 通うもうれし 穴の初風
- ・ 国の為 つくす心は 陸奥の 山の抗道 踏みてこそ知れ



総合討論

○ フロアとの意見・情報交換 ~参加者からの質問事項~

1. 東北の三大土木遺産の連携もですが、学習の場がほしいですね。
2. 震災前の野蒜築港資料室の復活又はそのような場所をぜひ望む！
3. 土木遺産にはエピソードがたくさんあり、ロマンがある。これを伝えていくことに、とても意義があると思います。エピソード集のようにまとめると、いろいろな人が興味を持ってくれるのではと思います。
4. 万世大路建設による具体的な短縮時間は？ 物資輸送の効率は何の程度あがったか？
5. 昨年北海道・北東北の縄文遺跡群が世界遺産になった。南東北の近代化遺産にその可能性はないのでしょうか。
6. 東北三大近代土木遺産は、どこで決まったのでしょうか？ 秋田、岩手、青森は？
7. 築港事業の進捗状況は？
8. 猪苗代の水域を1m程度上げたのは戸の口の水門をかえたのですか。
9. 安積疏水の通水能力〇m³/s？ 及び発電能力〇kw？
10. 現地の調査をオランダ人の土木専門技師にやらせていますが、その人の名前を教えてください。これらの質問事項に関し、話題提供者から回答されました。

○ 南東北の土木遺産を訪ねて

- ・ 野蒜築港サンセットクルージング
- ・ 南東北ローカル線の旅企画
- ・ 大回り乗車の実践



南東北の土木学会「選奨土木遺産」群



東北の地形の成り立ちと東北の三大近代土木遺産



11/14, 話題提供と共に野蒜塾の有志と現地見学会
野蒜海岸～野蒜築港市街地跡～北上運河～定川北閘門 (釜閘門) ～石井閘門～北上川・運河交流館

日大准教授が基調講演 **東松島**

野蒜築港開港140周年記念フォーラム 13日、フォーラム **東北三大遺産に光**

野蒜築港開港140周年記念フォーラムが13日、東松島市の野蒜市民センターで開催される。東北地方の三大近代土木遺産とされる野蒜築港、福島県の「安積疎水」、米沢市と福島市を結ぶ街道「万世大路」と、その整備に関わったオランダ人日本人の技術者の活躍に光を当てる。

東山・北上・東名運河研究会代表世話人・後藤光重元 東北大学大学院准教授 なしが

近代土木の意見交換も

主催 日本工学会の知野泰明准教授が基調講演し、近代化技術導入期にオランダ人技術者が果たした役割を語る。有識者が近代土木遺産について話題提供し、功績や利活用について意見交換する。

野蒜築港は明治政府が初の近代様式の橋として1878年に竣工、82年に一部開港したが、3年後の台風被害などが原因で廃港となった。午前9時50分〜午後2時半。入場無料。

2022.11.11 会告 石巻かほく 1面

野蒜築港の歴史とオランダ人技術者の功績を紹介したフォーラム

東北の地に欧州の技術

野蒜築港開港140周年フォーラム

オランダ人技術者の功績紹介

東松島市の野蒜築港の開港140周年を記念したフォーラムが13日、野蒜市民センターであった。明治新政府が初の近代港湾として建設した野蒜築港や福島県の「安積疎水」に携わったオランダ人技術者の功績を紹介し、東北の土木遺産に光を当てた。

日大工学部の知野泰明准教授が基調講演した。1日、羽田山脈を貫いて安積原野に水を引く。ドールンが必要な水量を導きだし、水門を設けて会津地域との流量調節を可能にした。知野准教授は「安定した水の確保を決定的にしたのがドールン」と強調した。

野蒜築港は1878年に竣工し、82年10月に一部開港した。84年9月の台風被害などが原因で廃港となった。

フォーラムは東山・北上・東名運河研究会や野蒜熱などが主催。地域住民ら約40人が参加した。米沢市と福島市を結んだ街道「万世大路」の話題提供や東北の土木遺産に関するパネル討論もあった。

頑張ろう 石巻

3.11東日本大震災

2022.11.16 石巻かほく 1面

○ 参加者のアンケート調査より

- 新しい見地からのフォーラム、興味深く拝聴いたしました。(東松島市内、60歳以上、公務員)
- 土木遺産の成り立ちの苦労を考えると、今の生活がとても幸せに感じられました。そこに土木遺産を伝えていく意義があると思えました。(市内、30〜50歳代、公務員)
- 野蒜築港があることは知っていたが、詳しくは知らなかったので、大変勉強になりました。(市内、60歳以上、無職)

4. 新聞を見て参加させていただきました。本日はありがとうございました。明治政府が、なぜこの野蒜に東北に港を築こうとしたのか、私の地域には、この野蒜築港と関係して首都移転という資料もあります。この地域は明治政府にとって大変魅力的な地域だったのでしょうか。この魅力ある地域に、未来へのヒントがあるような感じがします。

3. 11の東日本大震災もありましたが、この地方は災害との戦いも重要ではないのか。もし、この野蒜築港が成功していたら、どのような都市になっていたのでしょうか。(石巻市、60歳以上、自営業)

5. 素晴らしい企画だと思います。こうした土木関係の歴史や遺産をなくしては、日本の農業と暮らしは成り立たなかったと思います。先人の考えが実態として残され、受け継がれてほしいと思います。今回の企画も、若い人達にももっと参加してもらえたらよかったです。ITの時代であるのなら、そのITを駆使して伝える方法もあるのではないでしょうか。このような高度な歴史を伝えられたらよいなと思います。身近な古里の歴史としても残し、伝えてほしいです。(大崎市、60歳以上、その他)

6. 東北の近代技術を学習できて、楽しかった。(仙台市、30〜50歳代、公務員)

7. 認識を新たにしました。非常に有意義な1日でした。(仙台市、60歳以上、無職)

8. 何となく知ってる程度ですが、今日はより深く知ることが出来ました。ありがとうございました。最後まで参加出来ないのが残念です。(仙台市宮城野区、60歳以上、年金生活)

NO, 12

貞山運河「御舟入堀」
プロジェクト



貞山運河『御舟入堀』プロジェクトのあゆみ

令和4年2月19日

代表 武田せつ子

貞山運河『御舟入堀』プロジェクトとは

東日本大震災は、生命の尊さとともに、先人から受け継がれてきた叡智や足元の歴史の価値について再認識する貴重な機会ともなりました。「御舟入堀」をはじめとする「貞山運河」の津波によって無残に破壊された様を見て、仙台藩祖伊達政宗公の優れた土木遺産を未来へと継承することが、生かされた者としての私たちの使命であると痛感しました。

同時に、「貞山運河」の存在が、復興の真っ只中にある宮城において市町の枠を超えた「絆」となり、復興のシンボルになるとも感じております。

「地方の時代」といわれる今こそ、「貞山運河」を地域づくりの中心に据えることで、経済や観光、雇用、教育など社会全体への好循環を生み出していきたいと考えています。

歴史を学び

歴史
教室

ふるさとの素晴らしい土木遺産を知り、郷土愛を醸成。



歴史を感じ

フット
パス

御舟入堀フットパス（散策路）コースを作成。



歴史を繋ぐ

今昔
物語り隊

御舟入堀の歴史を掘り起こし、未来へ語り継いでいきます。



運河と親しみ

運河で
乾杯！

運河のほとりに集い、運河の利活用を考えるイベントを開催。



運河を美しく

清掃
活動

人々が心地よく利用できるよう、定期的に運河沿いの清掃活動を実施。



運河を楽しむ

和船で
運河遊覧

水面から見る運河の景色を楽しむ舟渡りを実施。



110

プロジェクトのこれまで



'14 勉強会スタート

'16 プロジェクト設立

現在

'14/12

歴史教室

'15/10

フットパス

'16/6

清掃活動

'16/7

今昔物語り隊

'17/7

運河で乾杯！

'18/10

和船で運河遊覧

111

